

# 記入例

## 入居見込み確認書

(宛先) 松山市長

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

(宅地建物取引業者による記名)

住所 松山市三番町四丁目1番地1

氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)

株式会社 松山住宅

代表取締役 松山 太郎

宅地建物取引業の免許番号

(〇〇) 第 〇〇〇〇〇〇 号

連絡担当者

道後 二郎

電話番号

089-948-6509

私/当社が売買取引を仲介した下記の家屋については、現在のところ当該取引の買主が住民票の転入手続を済ませていない状態にありますが、当該取引時点において、当該取引の買主より、当該取引後に当該家屋を自己の住宅の用に供する意向を有することについて、下記のとおり確認しておりますので、その内容をここに証します。

今回取得した家屋についてご記入ください。

今回取得した家屋の所在地が住居表示実施地域である場合はご記入ください。

松山市二番町四丁目7番地2

二番町四丁目7番2

今回取得した家屋への入居予定日をご記入ください。

家屋の住居表示

入居予定年月日

令和6年4月3日

現在の家屋(旧居)の  
処分方法等

(例) 借家の賃貸借契約解除

現在住んでいる住居の処分方法をご記入ください。

(例)・持家の売却・賃貸  
・親族の持ち家 等

入居が登記の  
後になる理由

(例) 現在、子どもが〇〇小学校に通学しており、区切りのいい年度末まで通わせ、4月から△△小学校に転入するため。

理由は出来るだけ具体的にご記入ください。  
※理由及び入居予定日までの期間によっては認められない場合があります。

入居見込み確認書  
ありません。

(買主による署名)

買主の方の「署名」をお願いします。  
(記名・押印は不可)

氏名 二番町 三郎

<備考>

- 1 本様式は、宅地建物取引業者が、買主である個人の依頼を受けて家屋の取得に係る取引の代理又は媒介をした場合において、当該宅地建物取引業者が記入すること。ただし、「買主による署名」欄のみ、宅地建物取引業者の求めに応じて当該買主が署名すること。
- 2 「家屋の表示」の「所在地」及び「家屋番号」の欄には、当該家屋の登記簿に記載された家屋番号及び所在地を記載すること。
- 3 「家屋の住居表示」の欄には、当該家屋の住居表示を記載すること。
- 4 「入居予定年月日」の欄には、当該家屋への当該買主の入居予定年月日を記載すること。
- 5 「現在の家屋（旧居）の処分方法等」の欄には、当該買主が現在居住している家屋の処分方法等を記載すること。
- 6 「入居が登記の後になる理由」の欄には、当該取引の買主の入居が登記の後になる理由を具体的に記載すること。